

NPO劇列車のひろがりと深化～8月から10月の劇列車

パペットシアターPROJECT報告会〔8月20日(日) /みんくるにて〕

2020年度にスタートした『パペットシアターPROJECT～困難を抱えるこどもへの文化体験支援事業』。スタートから3年が経過したところで、その意義と成果について報告会を開催しました。困窮した家庭への支援を行う団体ボナペティのT様、パペットシアターPROJECTに伴走支援をいただいたちくご川コミュニティ財団のM様からも御発言をいただきました。



遺贈寄付ワークショップに報告者として参加〔9月9日(土) /久留米大学〕

遺贈寄付ワークショップは、ちくご川コミュニティ財団様の主催事業です。劇列車は、昨年度のパペットシアターPROJECT実施について、10分間の報告機会をいただきました。報告者は劇列車事務局長の弥永尚子。

様々なCSO(市民活動団体)の皆さんと出会うことができました。



水分校区人権講演会にて、「一郎くんのリスタート」上演と対話のひろば

〔9月29日(金) /水分校区コミュニティセンター〕

水分校区人権講演会に招かれて、一郎くんのリスタート上演と対話のひろばを開催しました。たくさんの方に御参加いただいた会でした。参加された皆さんからも、たくさん学ぶことができ充実した会となりました。

フリースクール、無料塾を訪問しました！

来年度(2024年度)パペットシアターPROJECT実施にあたり、新しい連携先を求めてあちこちを訪問。訪問先は、フリースクール・未来学舎(久留米市北野町)、フリースクール・箱崎自由学舎えすぺらんさ(福岡市東区)、無料塾・わたしと僕の夢(久留米市東和町)の三つの団体様。三団体の皆様は、活動に忙しい中で私たちと会ってくださり、たくさんのお話を聞かせてくださいました。そこから、いまの日本社会の底が抜けおちてしまっていることを肌で感じることが出来たのでした。



事務局 | 福岡県久留米市山本町耳納838-1 アトリエ | 福岡県朝倉市秋月197「アトリエ山猫舎」
電話 | 090-8222-8928 (釜塚) メール | info@dramatrain.jp ホームページ | http://www.dramatrain.jp

劇列車の活動を伝えるブログ「劇列車の地獄的日々」
週1回めやすで更新中～QRコードからブログへアクセス→



特集

ハンガリーの人形劇 / 劇列車新作「さちの物語」

公益財団法人福岡県教育文化奨学財団助成事業

MIKROPÓDIUM

マイクロポディウム《小さな劇場》

ハンガリーの人形劇『マイクロポディウム』久留米公演開催

～小さな人形たちが織りなす不思議な劇場～

日 時 | 2024年 1月18日(木) ①大人向き公演 17:00開演
②ファミリー向き公演 19:00開演

場 所 | 石橋文化センター 石橋文化会館 小ホール

前売料金 | ①大人向き公演 大人こども問わず3,000円

②ファミリー向き公演・こども(3才以上中学生以下)700円

・ファミリー大人(こども引率者)1,300円

・一般大人 3,000円

主催団体 | 世界の人形劇をくるめで!市民実行委員会

協 力 | (特)舞台アート工房・劇列車

後 援 | 久留米連合文化会, 久留米市教育委員会, 公益財団法人久留米文化振興会,
ハンガリー大使館, リスト・ハンガリー文化センター

★『世界の人形劇をくるめで!市民実行委員会』とは

市民実行委員会は、ハンガリーの人形劇を久留米で受け入れるために、舞台アート工房・劇列車と久留米連合文化会有志・市民の協力で作られた実行委員会です。

ハンガリーの人形劇「ミクロポディウム」の魅力

昨年11月。劇列車にある打診がありました。それは、日本ウニマ（国際人形劇連盟日本センター）副会長のくすのき燕さんより、「ミクロポディウム」全国ツアーを久留米で受入れることができないかというものでした。そこで劇列車は、「世界の人形劇をくるめで！市民実行委員会」を結成し、受入れの準備を進めてきました。いよいよチケット販売開始となります。

東ヨーロッパ諸国は、ハンガリーを含めて人形劇がとてもさかん。そして東ヨーロッパの人形劇は、民衆的な抵抗と深く結びついてきた歴史があります。そんな国のひとつ、ハンガリーから訪れるレナート・オンドラシュさんは、ハンガリー政府から人間国宝の称号が贈られたほどの超絶技巧の持ち主でもあります。

東ヨーロッパの現代人形劇は、日本の現代人形劇とはまったく違った表現スタイルをもっています。滅多に観ることのできないハンガリーの人形劇。この機会に、その摩訶不思議な世界に浸ってみませんか？大人向き公演では、アフタートーク（通訳付き）もあります。



ファミリー向き公演の併演は、日本を代表する人形遣い、くすのき燕さんの肩掛け人形芝居です。こちらもお楽しみください。

劇列車新作人形演劇「さちの物語」

～沈黙した人びとが声をあげるとき～

脚本初稿が出来てから1年半。何度も脚本改訂が行われ、延々と話しあいが続けられ、やっと新作「さちの物語」が稽古佳境に入ってきています。舞台初演は12月17日（日）損保ジャパンひまわりホール（愛知県名古屋市）、P新人賞2022受賞記念公演。久留米初演は3月17日（日）石橋文化センター小ホール。皆様ぜひご覧下さい。



これは虐待を受けた子どもの物語

虐待やDVは、思い通りにならない壁に囲まれた弱者が、思い通りになるさらなる弱者を力で支配しようとするところから起こる。虐待は、弱者がさらなる弱者にふるう暴力。そのような暴力は、貧困や抑圧・孤立と深い親和性をもつ。

そんな家庭に育った子どもは沈黙する。仮面を被る。仮面を被るとは、周囲にほんとうの心を見せないこと。仮面とは優等生や道化を演じるための道具。そんな仮面を被った子どもはとても饒舌。だがしゃべりながら沈黙している。饒舌なのは仮面。沈黙しているのは心。そんな虐待を受けた子どもが沈黙を破るまでの物語。



久留米公演ではギフトチケット制を導入！

ギフトチケット制とは、劇列車のパペットシアターPROJECT～困難を抱えるこどもへの文化体験支援～への寄付制度。このチケット購入代金は、まるごとパペットシアターPROJECTへの寄付となります。ギフトチケットは、困難を抱えるこどもを支援したいあなたのためのチケットです。

公開稽古（大曲公民館稽古）のお知らせ

｜日 時｜12月9日（土）15：00～17：00（終了予定）〔14：30～受付開始〕

★終演後、観劇感想をシェアしあうフリートークあり。

｜参加費｜1,000円

｜場 所｜久留米市津福第二大曲公民館（西鉄試験場前駅徒歩5分）